

平成 29 年度 ビーチバレーボールルール取り扱いについて

1 サービスの許可に関する事項

規則 12 サービス (SERVICE)

規則 12.3 サービスの許可 (AUTHORIZATION OF THE SERVICE)

主審は、サーバーがエンドライン後方でボールを保持し、両チームがプレーする用意ができていることを確認した後、サービスを許可する。

(注)

- 1 ラリー終了 12 秒後に、サーバーがボールを保持していれば、主審はサービス許可のホイッスルをしてもよい。サーバーが準備できているかどうか確認する必要はない。ただし、ラリー終了 12 秒後にサーバーがボールを保持していても、レシービングチームが次のプレーの準備ができていない場合は、サービス許可のホイッスルをしてはならない。まず、遅延なく準備をするよう促すべきである。ラリー終了後、レシービングチームの準備が 12 秒よりも早い場合は、サーバーがボールを保持していてもサーバーの準備を待つことができる。また、すべての選手が準備できていれば、12 秒より前にホイッスルしてもよい。
- 2 ラリー終了後、サーバーが速やかにサービスゾーンに移動しない場合や、ボール・リトリバーからボールを受け取らない場合、また、ボールを保持した状態でサービスゾーンを平らに直す行為等は、遅延行為として注意を与えなければならない。
- 3 ラリー間を一定に保ち、常にラリー終了 12 秒後にサービス許可のホイッスルができるように、選手の遅延をコントロールするとともに、ラインや砂の状態、またはボール・リトリバーのボール回しの状況を確認することが重要である。

2 不当な要求に関する事項

規則 15 中 断 (INTERRUPTIONS)

規則 15.5 不当な要求 (IMPROPER REQUESTS)

以下のようなタイムアウトの要求は、不当な要求である。

- 15.5.1 ラリー中、またはサービスのホイッスルと同時に、あるいはその後に要求すること。(規則 6.1.3)
- 15.5.2 要求する権利のないチームメンバーが要求すること。
- 15.5.3 タイムアウトの許容回数を超えて要求すること。(規則 15.1)
- 15.5.4 試合に影響を与えず、試合の遅延行為にならない不当な要求は、同じ試合で繰り返さなければ、罰せられることなく拒否される。(規則 15.5, 16.1)
- 15.5.5 同じチームが試合中に、さらに不当な要求をした場合は遅延行為とみなされる。

(注)

- 1 チームの最初の不当な要求が、試合に影響を与えず遅延がない場合は、拒否され、記録用紙の備考欄に記録される。それまでにチームが遅延の罰則を受けていても、不当な要求が最初のものであれば、拒否されるのみである。(記入例)「第1セット チームA 3:7 不当な要求」
- 2 キャプテンではない選手がタイムアウトを要求したすぐ後(同じラリー間)、続いてキャプテンがタイムアウトを要求した場合(キャプテンが要求せずにそのままタイムアウトとしてベンチに戻ろうとしているときは、審判員からキャプテンにハンドシグナルを出すよう指示してよい)、タイムアウトの要求は許可される。キャプテンではない選手が要求したタイムアウトにキャプテンが同意せずコートに残っている場合等は、不当な要求とみなし、記録用紙に記録する。
- 3 不当な要求を繰り返した場合は遅延行為とみなし、遅延の罰則を適用する。チームがすでに遅延の罰則を受けている場合には加算される。

3 競技参加者の行為に関する事項

規則 19 行為の条件 (REQUIREMENTS OF CONDUCT)

規則 19.1 スポーツマンにふさわしい行為

- 19.1.1 競技参加者は、公式ビーチバレーボール規則に通じていなければならない。また、それを忠実に守らなければならない。
- 19.1.2 競技参加者は、審判員の決定に対し、スポーツマンらしく反論せず、受け入れなければならない。疑問がある場合には、ゲームキャプテンを通してのみ説明を求めることができる。
- 19.1.3 競技参加者は、審判員の決定に影響を与えたり、またはチームの反則を隠したりする行動や態度は避けなければならない。

規則 19.2 フェアプレー

- 19.2.1 競技参加者は、審判員だけでなく、他の役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆に対しても、フェアプレーの精神で敬意を示し、礼儀正しく行動しなければならない。

規則 20 不法な行為とその罰則 (MISCONDUCT AND ITS SANCTIONS)

規則 20.1 軽度の不法な行為 (MINOR MISCONDUCT)

軽度の不法な行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームが罰則のレベルに達しないように防ぐ義務がある。これは2段階で処置される。

ステージ 1: ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。

ステージ 2: 該当する選手にイエローカードを使用して警告をし、これ自体は罰則の適用ではないが、その試合においてそのチームメンバーが(さらにチームが)次からは罰則になることを示している。これは記録用紙に記録されるが、直ちに罰則を受けることはない。

規則 20.3 罰則の段階 (SANCTION SCALE)

主審の判断で、不法な行為の程度により、以下の罰則を適用し、記録用紙に記録する: ペナルティ、退場または失格。

- 20.3.1 ペナルティ: 同じ選手が同一セットで無作法な行為や無作法な行為を1度繰り返した場合。いずれの場合にも、そのチームは相手チームに1点とサービスを与える罰則を適用する。同一セットで選手による3回目の無作法な行為は、退場の罰則を適用する。しかし、無作法な行為は、続くセットでは同じ選手に与えられる。

20.3.2 退場：最初の侮辱的な行為は、退場の罰則が適用される。退場を受けた選手は、競技エリアを離れなければならない、チームは、そのセットで不完全を宣告される。

20.3.3 失格：最初の身体的攻撃、威嚇的、脅迫的な攻撃は失格の罰則が適用される。その選手は競技エリアを離れなければならない、チームは その試合で不完全を宣告される。
不法な行為は罰則段階表に示されたように罰則を適用する

(注)

- 1 競技参加者（競技者・スタッフ）が、規則 19 に反した場合や、審判員の判定に対して執拗に抗議するような態度をとった場合は、規則 20 にしたがって警告が与えられる。また、繰り返した場合は、反則が与えられる。
- 2 プレーイングエリア内で「ガム」を噛んだりすることは許されない。

4 試合の遅延に関する事項

規則 16 試合の遅延 (GAME DELAYS)

規則 16.1 遅延行為の種類 (TYPES OF DELAYS)

試合の再開を引き延ばすようなチームの不当な行動は、遅延行為である。主なものは以下のとおり：

- 16.1.1 試合を再開するよう指示された後、中断をさらに引き延ばすこと。
- 16.1.2 不当な要求を繰り返すこと。
- 16.1.3 試合を遅らせること（通常の試合の状況下で、ラリー終了から次のサービスのホイッスルまでは、最大限 12 秒間である）。
- 16.1.4 チームメンバーが試合を遅らせること。

(注)

- 1 選手が、サングラスを拭いたり砂をならしたりする場合、ラリー終了後、直ちに行わなければならない。一度次のポジションに着いた後に行うことは遅延となる。また、2つ以上の中断行為（サングラスを吹いた後、ラインや砂を直す等）も遅延となる。
- 2 TO及びTTOの終了後、コートへ戻る行為が遅い場合、またコートへ戻った後プレーを再開する前に線審のタオルでサングラスを拭いたりする場合も遅延行為となる。
- 3 自然なリアクションか判定をごまかす行動か、または遅延行為か、等を見極める。
ライン際のボールインのボールマークを消すリアクションは、判定をごまかす行動だけでは無いことを理解しなければならない。選手がラインに触れてはならない、というルールは無いので、選手がラインを直すことを要求する必要があるように、ラリー終了後速やかに、審判団でラインや砂を直すこと。主・副審は毎ラリー確認する必要がある。
- 4 審判員による遅延をしないよう、コートスイッチのホイッスルのタイミングが遅れることや、タイムアウトの要求を見逃すことのないよう、ゲームの流れを把握する。
- 5 副審は、ボールデッド時にまずサーバーの確認、記録の確認等を速やかに行い、その後でラインや砂を確認すること。競技中断中にできることは全て行う。次の準備を怠らない。
副審がホイッスルすべきものを主審が行なった際、ゲーム中に、公式ハンドシグナル以外の謝罪の合図は必要ない。アイコンタクトのみ。

5 コンプレッションパッドに関する事項

規則 4 チーム (TEAMS)

規則 4.5 禁止される物 (FORBIDDEN OBJECTS)

4.5.3 圧迫用サポーター（パッド入りの負傷部を保護する装具）は、保護やサポートのために着用することができる。 *付則の2

FVB 世界・公式大会のシニアカテゴリーでは、これらのサポーターはユニフォームの部分と対応した色でなければならない。

(注) *付則の2

- 1 コンプレッションパッドの色は、黒、白、肌色、ユニフォームの色のいずれかとし、それ以外の色は着用できない。

また審判員は、マッチプロトコール前に、下記の表にしたがった診断書提出の有無を、競技委員長または審判委員長に確認しなければならない。提出が無い場合、着用は許可されない。

一人または二人の選手が	片腕もしくは片脚に着用	診断書の提出が必要
一人の選手が	両腕もしくは両脚に着用	診断書の提出が必要
二人の選手が	両腕もしくは両脚に着用	<u>診断書の提出は不要</u> ユニフォームとして同じ色・長さの物を着用

6 コーチングについて

付録(1) 国内の大会に適用される 特別競技規則

*付則の1 【監督に関する規定】

- 1 チームは、監督 1 人を置くことができる。ただし、国民体育大会においては、監督が必ずチームベンチにいないといけない。
- 2 監督は、公益財団法人日本バレーボール協会が定める資格を有する者でなければならない。
- 3 監督は、ビーチバレーボール競技規則に精通し、チームキャプテンとともにチームメンバーの行為や規律に責任を持つ。
- 4 ベンチ入りする監督は、次の権限を持ち、また義務を負う。
 - (1) 試合開始前、記録用紙の監督サイン欄にサインしなければならない。
 - (2) 監督は、マッチプロトコール時（コイントス時）までに競技エリアにいないといけない。それ以降は試合が終了するまで競技コントロールエリアに入ることはできない。また、監督が試合の途中で競技エリアを離れた場合、試合が終了するまで再び競技エリアに戻ることはできない。
 - (3) 監督は、マッチプロトコール開始前は、コートでのウォームアップに参加することができる。また、国民体育大会においては、公式ウォームアップにも参加することができる。
 - (4) 監督は、試合中、チームベンチの外側に設置されたベンチに座る。しかし、指示または声援を送る

ことはできない。ただし、国民体育大会においては、試合中、チームベンチに座る。立って指示または声援を送ることはできない。また、チームサイドがコートスイッチにより入れ替わる際には、監督もその都度ベンチを移動しなければならない。

- (5) 監督は、試合中、次の場合に限りチームベンチにおいてチームメンバーに指示することができるが、これ以外の権限は有しない。

①タイムアウト時 ②テクニカルタイムアウト時 ③インターバル時

- (6) 国民体育大会においては、監督は、ラリー終了後次のサービス許可のホイッスルまでの間にも指示することができる。また審判員に公式ハンドシグナルを示し、タイムアウトを要求することができる。

- (7) 監督は、試合中、通信機器の利用を含め外部の者と接触してはならない。

- (8) 監督は、チームメンバーであり、試合の遅延行為は規則 16 が適用される。その際、公式記録用紙の備考欄に遅延の罰則の内容を記載する。

- (9) 監督の(4)(5)(6)に反した場合を含めた不法な行為は、規則 20 が適用される。その際、公式記録用紙の備考欄に不法な行為の内容を記載する。

(注)

- 1 両審判員は、監督が規定通りに行っているか、また、ラリー中に立ち上がったたり、指示や声援をしたりしていないか、気をつけなければならない。
- 2 国民体育大会の場合は、上記に加えて以下についても特に気をつけなければならない。
 - ① ラリー終了後次のサービス許可のホイッスルまでの間に、立ち上がって指示していないか。
 - ② チームのコートスイッチによりベンチを移動する際、指示することで遅延をしていないか。
猛暑の際に給水措置が取られる場合の遅延は、積極的にコントロールしなければならない。
 - ③ 監督がタイムアウトを要求するときに、ハンドシグナルに加えて口頭で要求してもらうよう監督が試合前のサインをする際に、協力を要請すると良い。(口頭だけの要求は許可されない。)

★監督に対するコーチングに関する罰則

罰則1【コーチングのタイミングに対する罰則】

- ①大会に監督が参加(ここで言う参加とはベンチに入ること)する場合、監督が規定外(上記①～④以外)のタイミングでコーチングを行ったと審判員が認めた場合、参加選手同様に規則20に従い適用される。

※ただし、確実にコーチングを行ったと認めることが出来ない場合はコートサイドに審判長・競技委員長を呼び確認の後、処置を行う。

- ②大会に監督の参加が認められない場合、監督がコート外からコーチングを行った場合は、審判員は審判委員長および競技委員長をコートサイドに呼んで確認し、対象者に処置を行う。

※この場合の処置はチームに関係なく個人に対してのものであり罰則とはならない。

しかしコーチングを受けたチームに対し審判員は口頭で注意を行う(これは罰則ではない)

罰則2【審判に対する侮辱行為、反スポーツマン行為に対する罰則】

監督が、審判もしくは相手チームなどに対して、暴言などの侮辱的行為、または、反スポーツマン行為を行ったと審判員が認めた場合、対象者は以下の罰則を受ける。

1度目<退場>監督・コーチはそのセット間競技コントロールエリアから退去させる。

2度目<失格>監督・コーチは競技コントロールエリアから退去させる。